

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 5 月 14 日 更新

事務事業名		熊本県交通安全推進連盟活動支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	田代 純児
	施 策	16	交通安全対策の推進			所属課	安全安心課	担当者名	下田 青空
	施策の柱	51	交通安全意識の高揚			所属班	交通防犯対策班	(内線)	1242
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 3	事業連番 10036	根拠法令	熊本県交通安全推進連盟規約	
終了、開始年度		☒ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 22 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	交通安全の確保並びに交通の円滑化を図るため、熊本県交通安全推進連盟が行う交通安全活動の推進、交通安全意識の普及、安全思想の高揚を図るための事業の支援を行う。市町村は連盟規約の中で会員として定められており、それにより平成22年度から事業を開始した。 ・連盟の定める要綱に沿って各交通安全運動期間に取り組みを行なう。 ・事故が多発した場合は連盟より事故多発警報等が発令され、市で事故防止の啓発活動等を行なう。 ・連盟の行なう活動の推進と参加
【業務の流れ】	年会費の支払い。毎年1回の総会への出席。その他連盟主催の行事へ参加、広報、啓発。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動) (DO)		6年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
県交通安全推進連盟に年会費の支払いを行った。		年会費の支払い。 幼児・老人交通安全クラブリーダー研修会・交通指導員研修会への参加。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 連名主催の行事への参加回数	回	令和6年度から10038交通安全啓発事業に統合することによる減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
熊本県交通安全推進連盟		→ ア: 熊本県交通安全推進連盟加盟団体数
		→ イ: 団体
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
交通安全活動を積極的に推進するため、会員として関係機関等の参加を促す。		→ ア: 新しく連盟に加入した団体数
		→ イ: 団体
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	回	0	0	3	0				
	イ									
② 対象指標	ア	団体	161	161	161	161				
	イ									
③ 成果指標	ア	団体	0	0	1	0				
	イ									
投 入 費 用	財 源	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	94	99	99	99			
	人 件 費	(A) 事業費計	千円	94	99	99	99			
		(A)のうち指定経費	千円	94	0	99	99			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	1	2	1	2			
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間	20	130	10	130				
		(B) 人件費計	千円	78	494	39	473			
			千円	172	593	138	572			

事務事業名	熊本県交通安全推進連盟活動支援事業	所属部	総務部	所属課	安全安心課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 本年度においても新型コロナ禍により会議は書面議決となったが、啓発活動については規模を縮小するなどし実施したことから当初の目標をおおむね達成できた。
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 令和6年度より10038交通安全啓発事業に統合
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 関係団体と連携し通学路での街頭指導やポスター掲示などを継続し実施していく。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和6年度より10038交通安全啓発事業に統合
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 負担金だけの事業費であり、負担金額も連盟の基準によって支払っている。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の事務なので削減余地はない
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全市民を対象とした交通安全の推進を図るための支援業務であり、公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 県の事業への支援事業であるため適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

今後も会員として連盟の活動の広報、周知を図り、関係団体と連携し啓発活動を実施していく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☒ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策